

県立高等学校教育改革 第3次実施計画に関する 第2回地区説明会

平成24年1月27日(金)18:30～【黒石市】スポカルイン黒石
平成24年1月28日(土)14:00～【むつ市】むつ来さまい館
平成24年2月2日(木)18:30～【青森市】県総合社会教育センター
平成24年2月3日(金)18:30～【南部町】剣吉公民館
平成24年2月6日(月)18:30～【五所川原市】五所川原市中央公民館
平成24年2月7日(火)18:30～【つがる市】生涯学習交流センター「松の館」
平成24年2月9日(木)18:30～【三沢市】三沢市公会堂
平成24年2月10日(金)18:30～【弘前市】青森県武道館
平成24年2月11日(土)14:00～【八戸市】八戸市福祉公民館
平成24年2月11日(土)17:30～【十和田市】十和田市中央公民館

青森県教育委員会

県立高等学校教育改革第3次実施計画策定の視点

- ① 県立高等学校における教育内容・方法
- ② 県立高等学校の適正な学校規模・配置
- ③ 社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等
- ④ 県立高等学校と中学校や大学等との連携

第3次実施計画の基本的な考え方や、前期計画の実施状況については、配付資料の

○『県立高等学校教育改革第3次実施計画』

○『県立高等学校教育改革第3次実施計画 前期実施計画の実施状況』をご覧ください。

1

1 適正な学校規模・配置に向けた取組

- (1) 高等学校教育改革第1次・第2次実施計画
- (2) 中学校卒業生数の減少
- (3) 高等学校ランドデザイン会議での検討
- (4) 第3次実施計画の策定
- (5) 第3次実施計画における適正な学校規模・配置
- (6) 各地区の学校規模・配置の状況

2 第3次実施計画【後期】の学校配置の方向性

- (1) 中学校卒業生数の推移
- (2) 後期計画の実施期間
- (3) 地区ごとの中学校卒業予定者数の推移
- (4) 県全体の募集学級数の見込
- (5) 地区ごとの学校規模・配置の方向性

3 今後のスケジュール

2

1 適正な学校規模・配置に向けた取組

3

(1) 高等学校教育改革第1次・第2次実施計画

「21世紀を展望した本県高等学校教育の在り方について」
青森県高等学校教育改革推進検討会議（平成9～10年度）



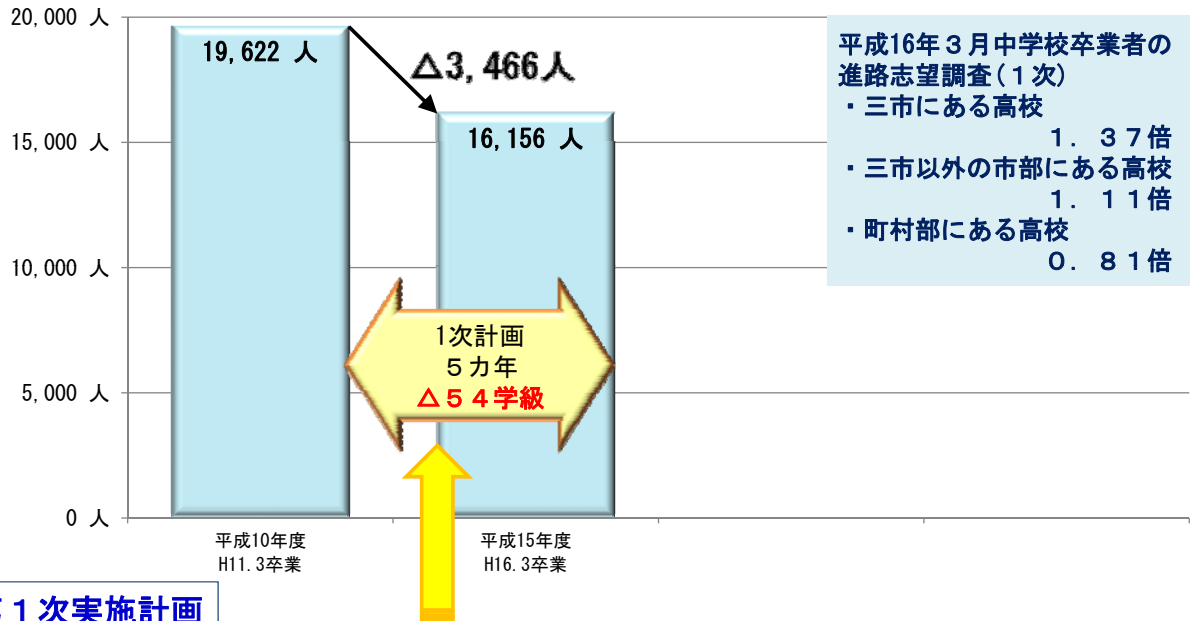
県立高等学校教育改革第1次実施計画（平成12年度～平成16年度）



県立高等学校教育改革第2次実施計画（平成17年度～平成20年度）

4

①第1次実施計画の取組



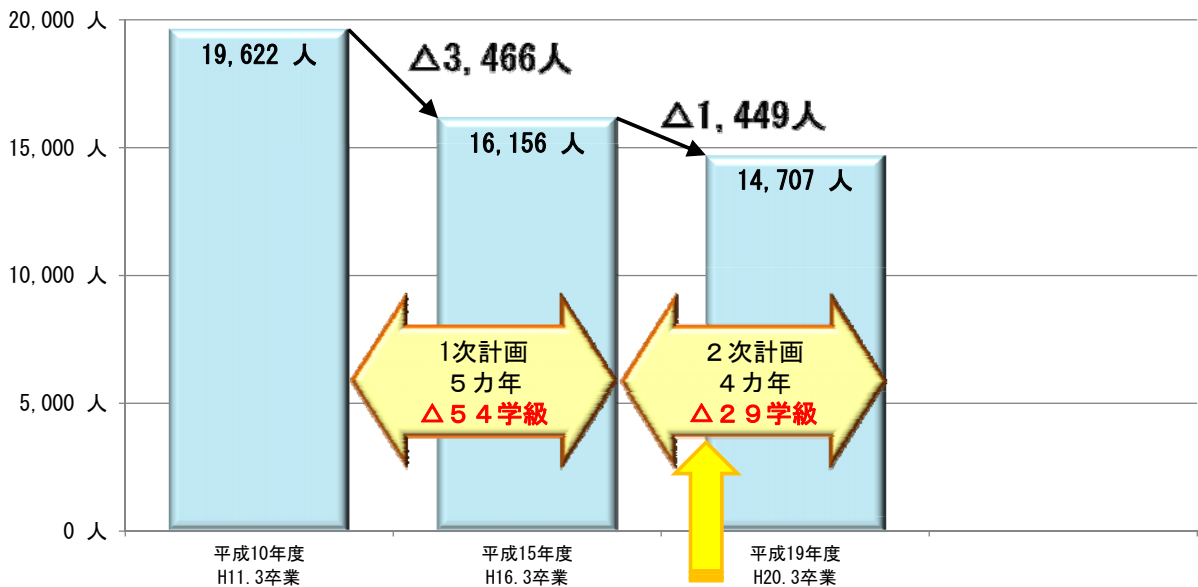
第1次実施計画

- ・既存の学校を可能な限り存続させる
- ↓
- ・市部の学校を中心に学級減
- ・小規模校の学級定員の引き下げ

- ・市部の学校では志願倍率が高いまま推移
- ・町村部の小規模校では地元生徒の占める割合の低下
大幅な定員割れ

5

②第2次実施計画の取組



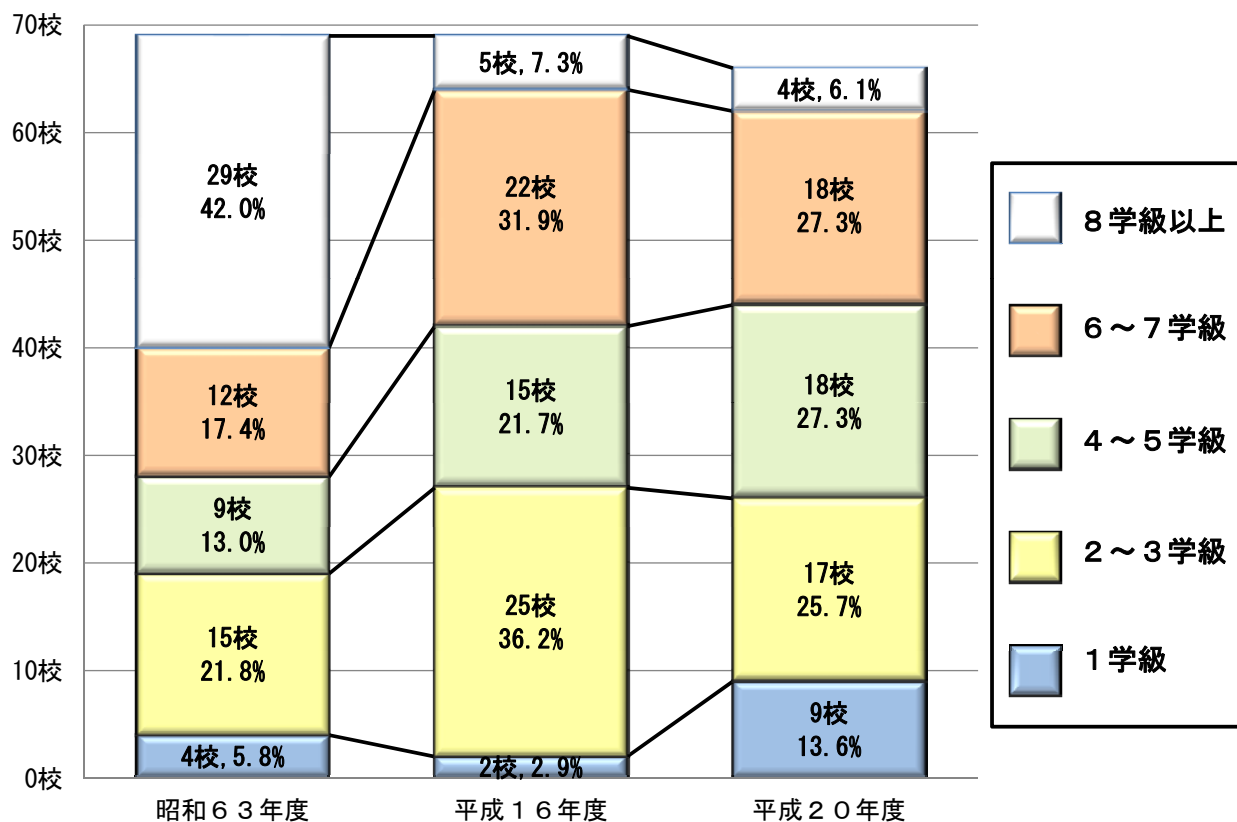
第2次実施計画

- 1次計画と同様の考え方で対応した場合
- ↓
- 市部の学校において一層の学級減
- ↓
- 生徒や保護者の進路志望と一層の乖離

- ・分校の募集停止
- ・市部の3学級以下の学校の募集停止
- ・町村部の1学年3学級以下の学校
→地元生徒の志願・入学状況を踏まえ学級減
→1学級募集の学校は校舎制を導入

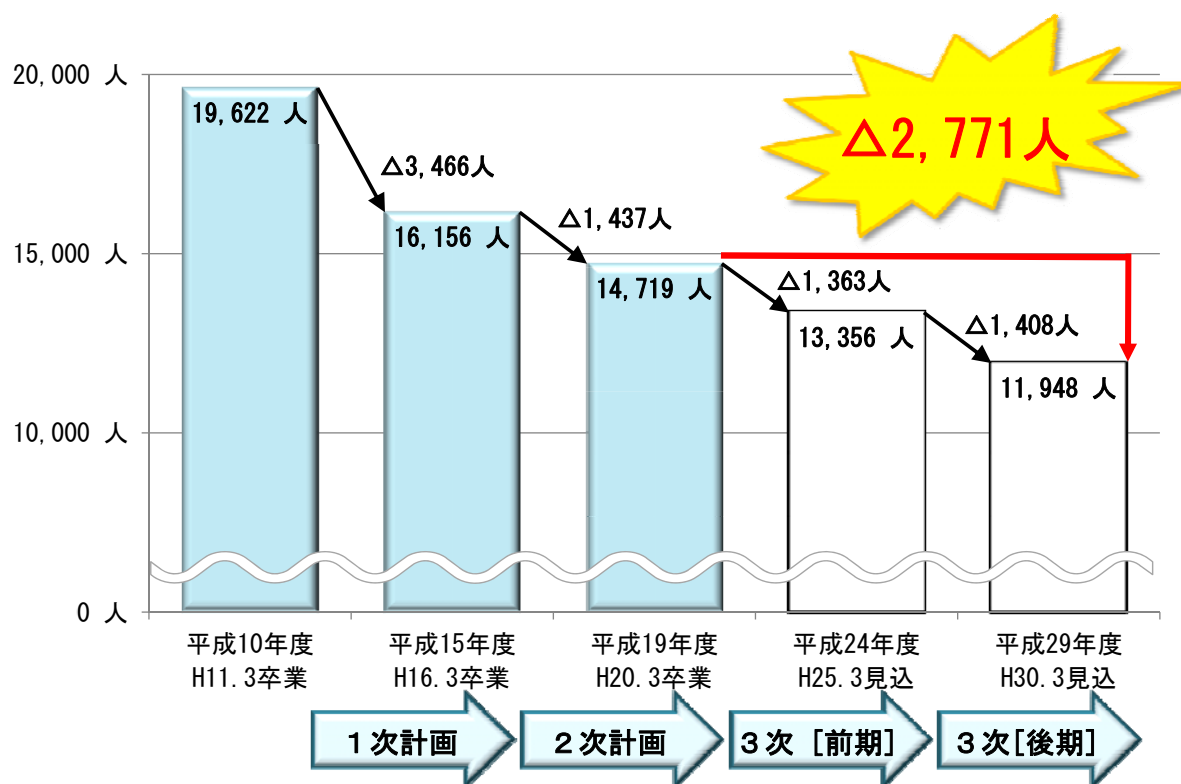
6

③ 全日制高校の学校規模の推移（1学年あたりの学級数）



7

(2) 中学校卒業生数の減少



※第3次実施計画策定時の推計

8

(3) 高等学校グランドデザイン会議での検討

◎高等学校を取り巻く環境に大きな変化

- ・ 中学校卒業者数のさらなる減少
- ・ 産業構造や就業構造の変化
- ・ 生徒の進路意識の多様化



◎今後の県立高等学校の在り方

- ・ 本県高等学校教育の水準の維持・向上
- ・ 活力ある教育活動の展開
- ・ 高校生が夢を育むことができる環境



高等学校グランドデザイン会議(平成18~19年度)
(委員:県内の有識者・産業界関係者・PTA関係者・教育関係者等)

◎答申の概要(平成19年10月10日)

- ① 県立高等学校の適正な学校規模・配置
- ② 社会の変化と生徒の多様な進路志望に対応する学科・コース等
- ③ 県立高等学校と中学校や大学等との連携

9

(4) 第3次実施計画の策定

①策定までの経緯

平成18年	5月~	高等学校グランドデザイン会議での検討
平成19年	10月	高等学校グランドデザイン会議からの答申
平成19年	10月~	高校教育改革推進庁内検討委員会設置 具体の実施計画の検討
平成20年	1月	県立高等学校教育改革第3次実施計画(素案)
平成20年	3月	県立高等学校教育改革第3次実施計画(案)
平成20年	4月~	パブリック・コメントの実施 県内6地区における説明会の開催
平成20年	8月	県立高等学校教育改革第3次実施計画 策定

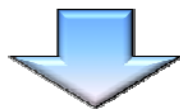
- ① 平成21年度以降の10年間を見通した
高校教育改革の基本的な考え方
- ② 平成21年度から平成25年度までの
具体的な実施計画【前期】

10

②実施計画策定の考え方

高等学校の役割

- ・ 自立した社会人として生きるための様々な資質を身につける場
- ・ 将来の生き方を考え、進路を決定する場



- 学力向上に向けた教育内容の充実
- 生徒が互いに「切磋琢磨」できる環境での多様な教育活動の展開
 - ・ 社会性をはぐくみ、自ら考え、行動する力を身に付けさせる
 - ・ 主体的な進路選択を行うための勤労観・職業観を身に付けさせる

11

③実施計画策定の視点

県立高等学校における教育内容・方法

県立高等学校の適正な学校規模・配置

社会の変化と多様な進路志望に対応する学科・コース等

県立高等学校と中学校や大学等との連携

④実施計画の期間

○ 県立高等学校教育改革第3次実施計画の期間

平成21年度から平成30年度までの10年間

・ 前期計画の期間

平成21年度から平成25年度までの5年間

・ 後期計画の期間

平成26年度から平成30年度までの5年間

12

(5) 第3次実施計画における適正な学校規模・配置

①望ましい学校規模

- ・生徒の進路実現に必要な教科・科目の設定
 - ・集団の中の生徒同士による切磋琢磨
 - ・社会に出て行くための逞しい心の涵養
 - ・多様な学校行事や部活動の選択肢の確保
- 等が重要



活力ある教育活動の維持には、
一定規模以上の学校が望ましい

13

○青森市・弘前市・八戸市の普通高校と、その他の市町村にある普通高校は、それぞれの視点で考える



- ・青森市・弘前市・八戸市の人口規模が他と比べて大きい
- ・近隣の市町村から青森市・弘前市・八戸市の普通高校へ進学を希望する中学生が多い

○普通高校以外は、これまでの志願・入学状況などに対応し、学校規模が多様



◎望ましい学校規模

- ・三市の普通高校は、1学年当たり6学級以上の学校規模
- ・そのほかの全ての高等学校は、1学年4学級以上の学校規模

14

②学校配置の方向性

○望ましい学校規模になるよう地区ごとに計画的に統合等を進める

【観点】

- ・ 中学校卒業予定者数の推移
- ・ 社会や生徒のニーズに対応した普通科等・職業学科・総合学科の割合
- ・ 各地区の普通科等・職業学科・総合学科の配置割合は、地域の産業構造の特性や学科設置の経緯などにより異なっていることに十分配慮する
- ・ 他の学校への通学が困難である場合などは、柔軟な学校配置等にも配慮する
- ・ 統合については、同じ分野の高校を優先して進める

○校舎制導入校は計画的に募集停止

- ・ 生徒の入学状況等により、実施年度を変更することもある

※校舎制…法的には分校。本校との連携・協力により教育内容の充実に努める制度。

15

③学級定員の引き下げ

1学級の定員を40人から35人・30人に引き下げ

- ・ 1学年あたり2～3学級の小規模校
- ・ 農業・工業・水産高校
- ・ 表現科

定員を引き下げている学級の割合（35人・30人）

- ・ 平成23年度 全日制262学級中、95学級（**36%**）で学級定員の引き下げ

全国の学級定員の引き下げ状況

- ・ 平成23年度 普通科の一部の学級で学級定員の引き下げ
… 14県（東北では、青森県、秋田県、福島県の3県）

16

②西北地区

普通科等 職業学科 総合学科

平成20年度														
学校名	学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス			
五所川原	5	200	40	40	40	40	40							
五所川原・東校舎			募集停止											
金木	2	70	35	35										
木造	6	240	40	40	40	40	40	40						
木造・稲垣分校			募集停止											
木造・深浦校舎	1	40	40											
鱒ヶ沢	3	105	35	35	35									
板柳	3	105	35	35	35									
鶴田	2	70	35	35										
中里	2	70	35	35										
五所川原農林	5	175	35	35	35	35	35							
五所川原工業	5	175	35	35	35	35	35							
地区計	34	学級	1,250人											

平成25年度														
学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス				
6	240	40	40	40	40	40	40							1
2	70	35	35											
5	200	40	40	40	40	40								△ 1
1	40	40												
2	70	35	35											△ 1
3	105	35	35	35										
2	70	35	35											
2	70	35	35											
5	175	35	35	35	35	35								
4	140	35	35	35	35	35								△ 1
32	学級	1,180人												

募集学級数増減 ▲ 2学級(対20年)

募集定員増減 ▲ 70人(対20年)

高等学校の1学級あたりの定員は、40人を標準としているが、1学年あたり2～3学級の小規模校や農業・工業・水産高校では35人の定員としている

19

③中南地区

普通科等 職業学科 総合学科

平成20年度														
学校名	学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス			
弘前	7	280	40	40	40	40	40	40	40					
弘前中央	6	240	40	40	40	40	40	40						
弘前南	6	240	40	40	40	40	40	40						
弘前南・大鱧校舎	1	40	40											
岩木	3	105	35	35	35									
黒石	5	200	40	40	40	40	40							
尾上総合	2	80	40	40										
柏木農業	4	140	35	35	35	35								
弘前工業	8	280	35	35	35	35	35	35	35	35				
弘前実業	8	320	40	40	40	40	40	40	40	40				
弘前実業・藤崎校舎	1	40	40											
黒石商業	4	160	40	40	40	40								
地区計	55	学級	2,125人											

平成25年度														
学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス				
7	280	40	40	40	40	40	40	40						
6	240	40	40	40	40	40	40							
6	240	40	40	40	40	40	40							△ 1
		募集停止												△ 1
2	70	35	35											△ 1
5	200	40	40	40	40	40								
		募集停止												△ 2
4	140	35	35	35	35									
7	245	35	35	35	35	35	35	35	35					△ 1
8	320	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	
1	40	40												
4	160	40	40	40	40									
50	学級	1,935人												

募集学級数増減 ▲ 5学級(対20年)

募集定員増減 ▲ 190人(対20年)

高等学校の1学級あたりの定員は、40人を標準としているが、1学年あたり2～3学級の小規模校や農業・工業・水産高校では35人の定員としている

20

④上北地区

普通科等 職業学科 総合学科

平成20年度														
学校名	学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス			
三本木	6	240	40	40	40	40	40	40						
十和田西	2	70	35	35										
三沢	7	280	40	40	40	40	40	40	40					
野辺地	4	160	40	40	40	40								
七戸	4	160	40	40	40	40								
七戸・八甲田校舎	1	40	40											
百石	5	200	40	40	40	40	40							
六戸	3	105	35	35	35									
六ヶ所	2	70	35	35										
三本木農業	6	210	35	35	35	35	35	35						
十和田工業	6	210	35	35	35	35	35	35						
三沢商業	5	200	40	40	40	40	40							

地区計 51 学級 1,945人

平成25年度														
学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス				
6	240	40	40	40	40	40	40							
2	70	35	35											
6	240	40	40	40	40	40	40	40						△ 1
4	160	40	40	40	40									
4	160	40	40	40	40									
		募集停止												△ 1
4	160	40	40	40	40									△ 1
2	70	35	35											△ 1
2	70	35	35											△ 1
6	210	35	35	35	35	35	35	35						
5	175	35	35	35	35	35	35							△ 1
5	200	40	40	40	40	40								

46 学級 1,755人

募集学級数増減 ▲ 5 学級(対20年)

募集定員増減 ▲ 190 人(対20年)

高等学校の1学級あたりの定員は、40人を標準としているが、1学年あたり2～3学級の小規模校や農業・工業・水産高校では35人の定員としている

21

⑤下北地区

普通科等 職業学科 総合学科

平成20年度														
学校名	学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス			
田名部	6	240	40	40	40	40	40	40						
田名部・大畑校舎	1	40	40											
大湊	5	200	40	40	40	40	40							
大湊・川内校舎	1	40	40											
大間	2	70	35	35										
むつ工業	5	175	35	35	35	35	35							

地区計 20 学級 765人

平成25年度															
学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス					
5	200	40	40	40	40	40								△ 1	
		募集停止													△ 1
5	200	40	40	40	40	40									
1	40	40													
2	70	35	35												
5	175	35	35	35	35	35									

18 学級 685人

募集学級数増減 ▲ 2 学級(対20年)

募集定員増減 ▲ 80 人(対20年)

高等学校の1学級あたりの定員は、40人を標準としているが、1学年あたり2～3学級の小規模校や農業・工業・水産高校では35人の定員としている

22

⑥三八地区

普通科等

職業学科

総合学科

平成20年度														
学校名	学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス			
八戸	7	280	40	40	40	40	40	40	40					
八戸東	5	190	40	40	40	40	30							
八戸北	6	240	40	40	40	40	40	40						
八戸西	5	200	40	40	40	40	40							
八戸南	5	200	40	40	40	40	40							
八北・南郷校舎	1	40	40											
五戸	3	105	35	35	35									
三戸	3	105	35	35	35									
田子	2	70	35	35										
名久井農業	3	105	35	35	35									
八戸水産	4	140	35	35	35	35								
八戸工業	8	280	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	
南部工業	2	70	35	35										
八戸商業	4	140	35	35	35	35								
地区計	58	学級	2,165人											



平成25年度														
学級数	定員	4クラス				6クラス				8クラス				
6	240	40	40	40	40	40	40	40	40					△ 1
6	230	40	40	40	40	40	40	30						1
6	240	40	40	40	40	40	40	40						
5	200	40	40	40	40	40								
		募集停止												△ 5
1	40	40												
2	70	35	35											△ 1
2	70	35	35											△ 1
2	70	35	35											
3	105	35	35	35										
4	140	35	35	35	35									
7	245	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	△ 1
		募集停止												△ 2
4	160	40	40	40	40									
	48	学級	1,810人											

募集学級数増減 ▲ 10 学級 (学級(対20年))

募集定員増減 ▲ 355 人 (対20年)

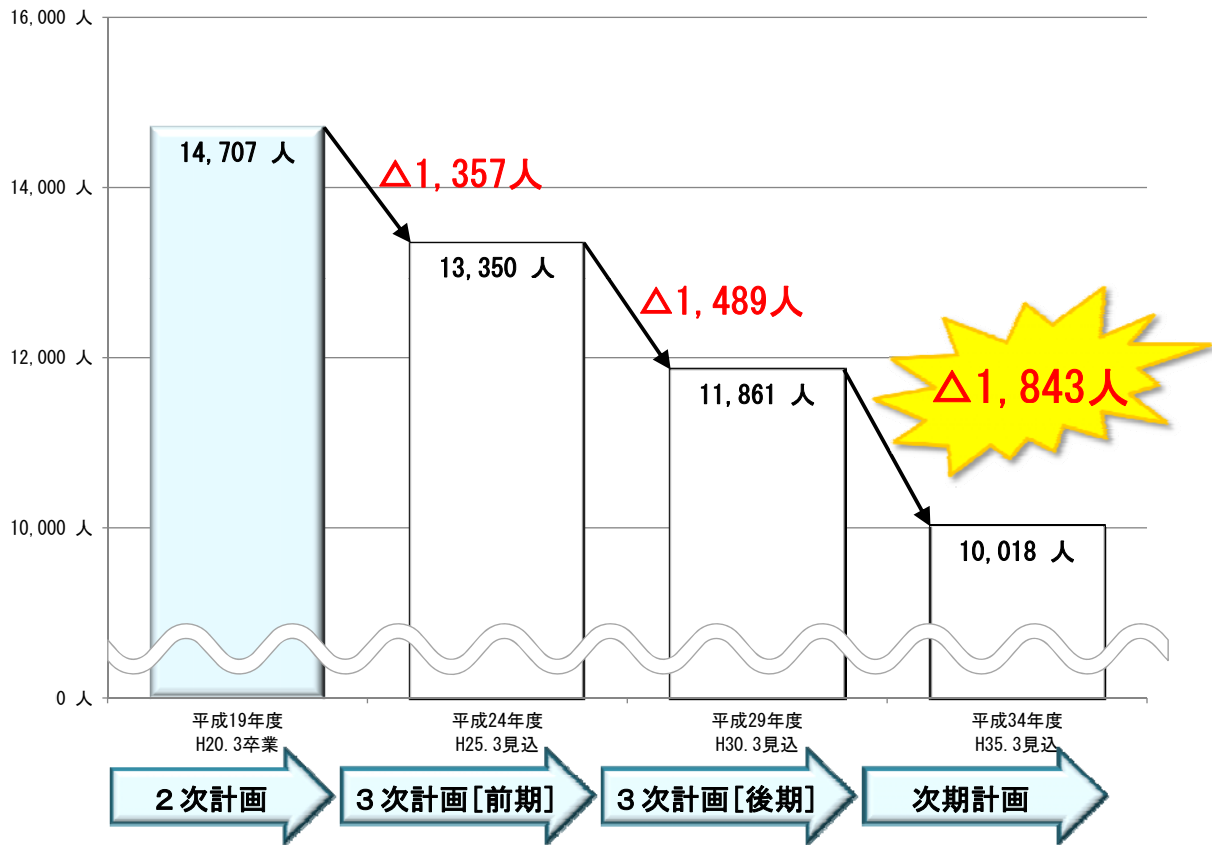
高等学校の1学級あたりの定員は、40人を標準としているが、1学年あたり2~3学級の小規模校や農業・工業・水産高校では35人の定員としている

23

2 第3次実施計画【後期】の学校配置の方向性

24

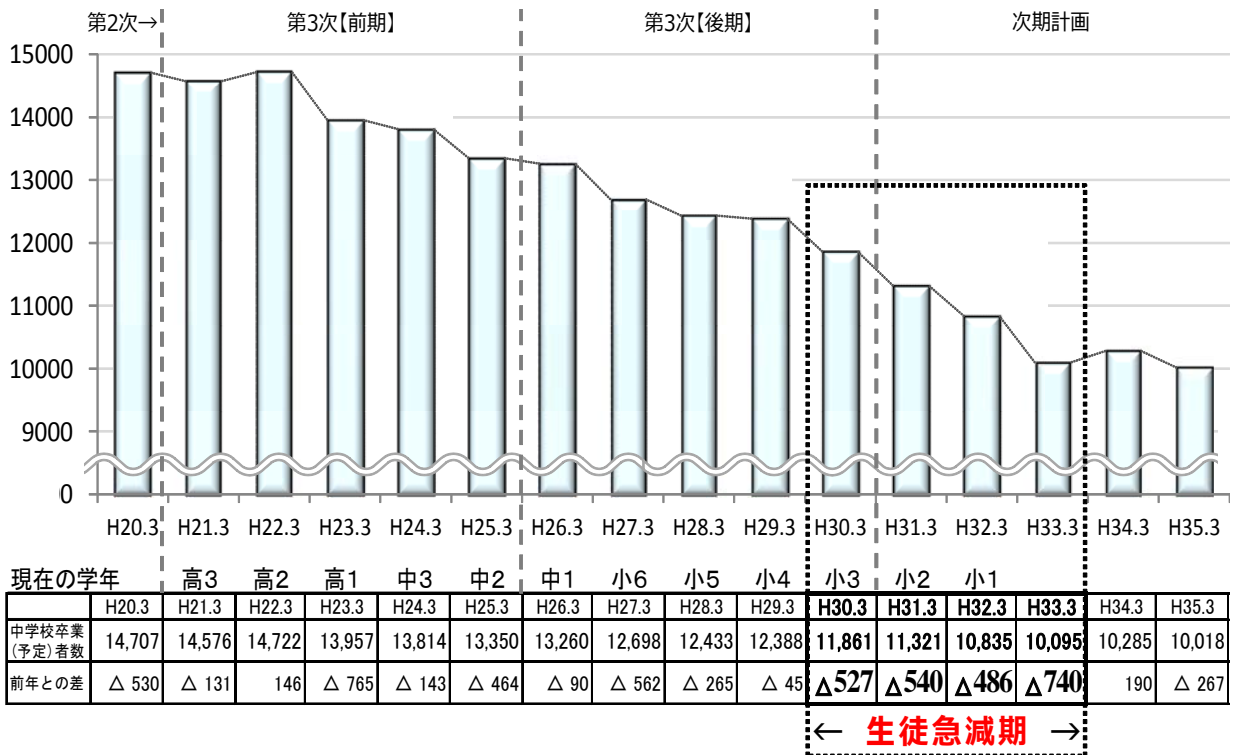
(1) 中学校卒業生数の推移



※平成23年5月1日現在の児童生徒数等を基に推計

(2) 後期計画の実施期間

①年度毎の中学校卒業（予定）者数の推移

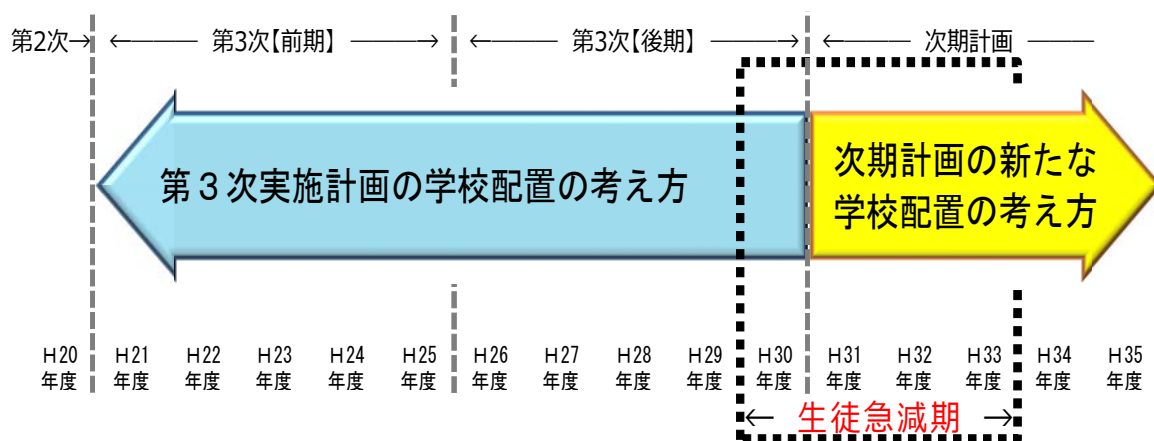


現在の学年	高3	高2	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	H34.3	H35.3		
中学校卒業(予定)者数	14,707	14,576	14,722	13,957	13,814	13,350	13,260	12,698	12,433	12,388	11,861	11,321	10,835	10,095	10,285	10,018
前年との差	△ 530	△ 131	146	△ 765	△ 143	△ 464	△ 90	△ 562	△ 265	△ 45	△ 527	△ 540	△ 486	△ 740	190	△ 267

← 生徒急減期 →

②生徒急減期への対応

○平成30年度から平成33年度までの生徒急減期

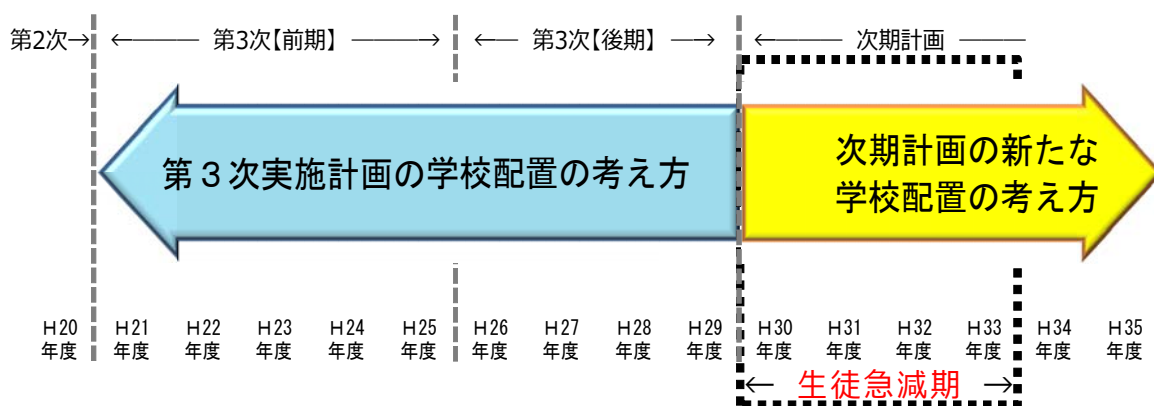


○平成31年度以降の次期計画

- ・ 新たな学校配置等の考え方を有識者等による検討会議で検討
- ・ 県民の意見を踏まえ、策定

27

○平成30年度から平成33年度までの生徒急減期



- ・ 平成30年と平成31年以降を違う考え方で策定するよりも、一体のものとして新たな学校配置等の考え方で対応

28

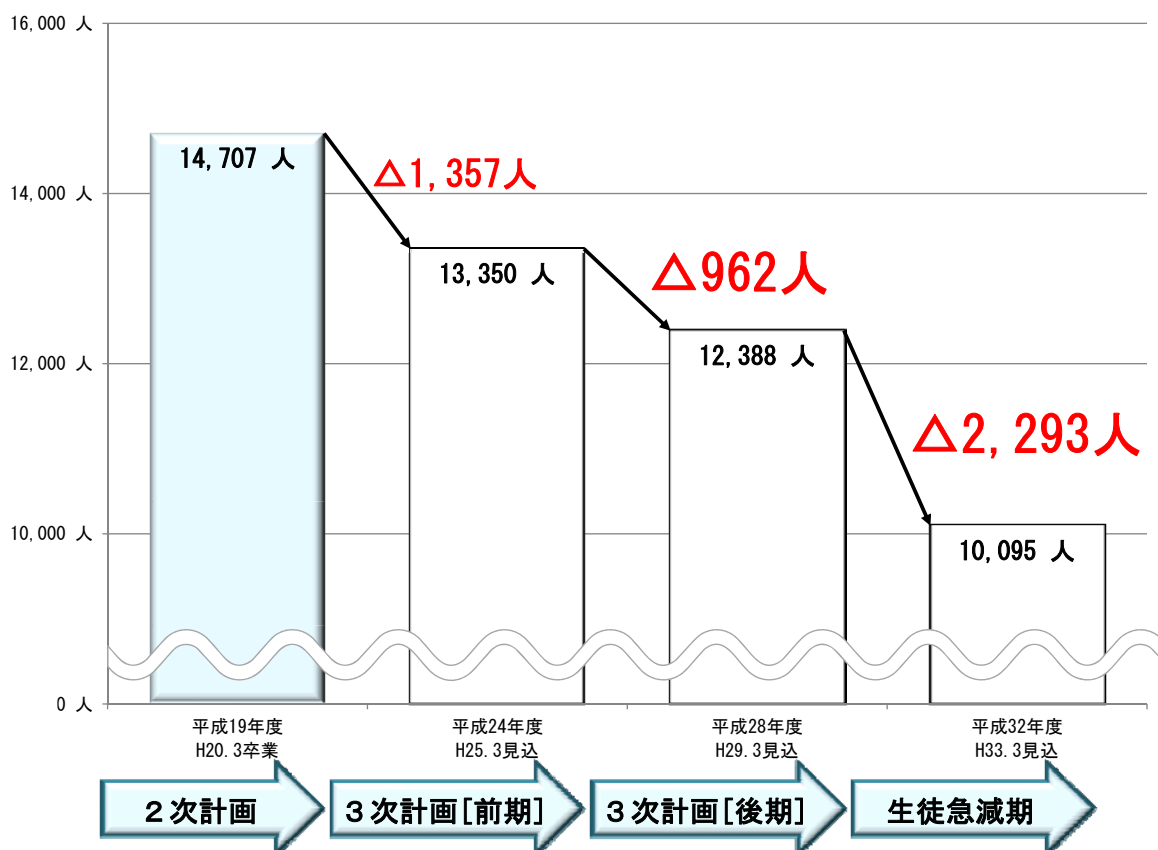
○次期計画

- ・ 1年早め、平成30年度からの計画として策定

○第3次実施計画【後期】

- ・ 平成26年度から平成29年度までの4年間の計画として策定

③実施期間変更後の中学校卒業生数の推移



(3) 地区ごとの中学校卒業予定者数の推移（見込）

※各年3月の中学校卒業予定者数を示す

	H20 (実績)	H21 (実績)	H22 (実績)	H23 (実績)	H24 (見込)	H25 (見込)	H26 (見込)	H27 (見込)	H28 (見込)	H29 (見込)	H29 - H25	
東青地区	3,262	3,268	3,357	3,097	3,125	2,970	3,022	2,957	2,917	2,958	△ 12	
西北地区	1,621	1,689	1,672	1,590	1,552	1,512	1,445	1,425	1,348	1,358	△ 154	
中南地区	3,122	3,067	3,150	2,838	2,897	2,862	2,720	2,580	2,550	2,561	△ 301	
上北地区	2,287	2,222	2,204	2,232	2,127	2,117	2,148	2,043	2,010	1,974	△ 143	
下北地区	896	865	817	839	837	781	798	766	705	712	△ 69	
三八地区	3,519	3,465	3,522	3,361	3,276	3,108	3,127	2,927	2,903	2,825	△ 283	
県 計	14,707	14,576	14,722	13,957	13,814	13,350	13,260	12,698	12,433	12,388	△ 962	
参 考 (前年との比較)	△ 530	△ 131	146	△ 765	△ 143	△ 464	△ 90	△ 562	△ 265	△ 45		
参 考 (5年前と比較)	△ 2,069						△ 1,357					
参 考 (H25年と比較)												△ 962

31

(4) 県全体の募集学級数の見込（全日制）

	H20	H23	H20との差	H25 見込	H20との差	H29 見込	H25との差
東青地区	62	57	△ 5	54	△ 8	54	0
西北地区	34	33	△ 1	32	△ 2	27	△ 5
中南地区	55	51	△ 4	50	△ 5	44	△ 6
上北地区	51	49	△ 2	46	△ 5	43	△ 3
下北地区	20	20	0	18	△ 2	17	△ 1
三八地区	58	52	△ 6	48	△ 10	44	△ 4
県 計	280	262	△ 18	248	△ 32	229	△ 19

※各年度の募集学級数を示す。H25、H29については、H23.5.1現在の児童生徒数を基に一定の条件により推計した。

32

(5) 地区ごとの学校規模・配置の方向性

①東青地区

○中学校卒業生数の推移（見込）

	第2次実施計画期間		第3次実施計画[前期]期間		第3次実施計画[後期]期間				生徒急減期	
		H20(実績)		H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)	H28(見込)	H29(見込)		H33(見込)
中卒予定者数		3,262		2,970	3,022	2,957	2,917	2,958		2,464
(前年と比較)		—		—	52	△65	△40	41		—
(期間内の増減)		△217		△292	—			△12		△494
募集学校級数		62		54	—			54		
(期間内の増減)		△4		△8	—			0		

※各年3月の中学校卒業予定者数及び各年度の募集学級数を示す。

33

○東青地区における学校規模・配置の方向性

学校名	学級数	定員	平成25年度												
			普通科等			職業学科			総合学科						
			4クラス	6クラス	8クラス	4クラス	6クラス	8クラス	4クラス	6クラス	8クラス				
青森	7	280	40	40	40	40	40	40	40						
青森西	6	240	40	40	40	40	40	40							
青森東	7	280	40	40	40	40	40	40	40						
青森北	6	240	40	40	40	40	40	40							
青森南	6	240	40	40	40	40	40	40							
青森中央	5	200	40	40	40	40	40								
浪岡	2	70	35	35											
青森東・平内校舎	1	40	40												
青森北・今別校舎	1	40	40												
青森工業	7	245	35	35	35	35	35	35	35						
青森商業	6	240	40	40	40	40	40	40							
地区計	54	学級	2,115人												



後期計画期間中の
中学校卒業予定者数の
増減 **△12人**

募集学級数の増減

0学級



生徒数減少への対応策

○生徒数の増減に応じた
計画的な学級の増減

を検討

34

②西北地区

○中学校卒業生数の推移（見込）

	第2次実施計画期間		第3次実施計画[前期]期間		第3次実施計画[後期]期間				生徒急減期
		H20(実績)		H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)	H28(見込)	H29(見込)	H33(見込)
中卒予定者数		1,621		1,512	1,445	1,425	1,348	1,358	1,045
(前年と比較)		—		—	△ 67	△ 20	△ 77	10	—
(期間内の増減)		△ 310		△ 109	—			△ 154	△ 313
募集学校級数		34		32	—			27	
(期間内の増減)		△ 6		△ 2	—			△ 5	

※各年3月の中学校卒業予定者数及び各年度の募集学級数を示す。

35

○西北地区における学校規模・配置の方向性

学校名	学級数	定員	平成25年度			普通科等			職業学科			総合学科		
			4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年	4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年	4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年	4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年
五所川原	6	240	40	40	40	40	40	40						
金木	2	70	35	35										
木造	5	200	40	40	40	40	40							
木造・深浦校舎	1	40	40											
鱒ヶ沢	2	70	35	35										
板柳	3	105	35	35	35									
鶴田	2	70	35	35										
中里	2	70	35	35										
五所川原農林	5	175	35	35	35	35	35							
五所川原工業	4	140	35	35	35	35								
地区計	32	学級	学級	1,180人										



後期計画期間中の
中学校卒業予定者数の
増減 **△154人**

募集学級数の増減
△5学級



生徒数減少への対応策

○生徒数の減少に応じた
計画的な学級減

○町村部の普通高校1校
に校舎制導入

を検討

36

③中南地区

○中学校卒業生数の推移（見込）

	第2次実施計画期間		第3次実施計画[前期]期間		第3次実施計画[後期]期間				生徒急減期
		H20(実績)		H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)	H28(見込)	H29(見込)	H33(見込)
中卒予定者数		3,122		2,862	2,720	2,580	2,550	2,561	1,995
(前年と比較)		—		—	△142	△140	△30	11	—
(期間内の増減)		△382		△260	—			△301	△566
募集学校級数		55		50	—			44	
(期間内の増減)		△8		△5	—			△6	

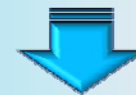
※各年3月の中学校卒業予定者数及び各年度の募集学級数を示す。

○中南地区における学校規模・配置の方向性

学校名	学級数	定員	平成25年度							
			普通科等				職業学科		総合学科	
			4クラス		6クラス		8クラス			
弘前	7	280	40	40	40	40	40	40		
弘前中央	6	240	40	40	40	40	40			
弘前南	6	240	40	40	40	40	40			
岩木	2	70	35	35						
黒石	5	200	40	40	40	40	40			
柏木農業	4	140	35	35	35	35				
弘前工業	7	245	35	35	35	35	35	35	35	
弘前実業	8	320	40	40	40	40	40	40	40	40
弘前実業・藤崎校舎	1	40	40							
黒石商業	4	160	40	40	40	40				
地区計	50	学級	学級	1,935人						

後期計画期間中の
中学校卒業予定者数の
増減 **△301人**

募集学級数の増減
△6学級



生徒数減少への対応策

○生徒数の減少に応じた
計画的な学級減

○市部の普通高校1校の
募集停止

○校舎制導入校1校の募
集停止

を検討

④上北地区

○中学校卒業生数の推移（見込）

	第2次実施計画期間		第3次実施計画[前期]期間		第3次実施計画[後期]期間			生徒急減期	
		H20(実績)		H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)	H28(見込)	H29(見込)	H33(見込)
中卒予定者数		2,287		2,117	2,148	2,043	2,010	1,974	1,666
(前年と比較)		—		—	31	△105	△33	△36	—
(期間内の増減)		△180		△170	—			△143	△308
募集学校級数		51		46	—			43	
(期間内の増減)		△4		△5	—			△3	

※各年3月の中学校卒業予定者数及び各年度の募集学級数を示す。

○上北地区における学校規模・配置の方向性

学校名	学級数	定員	平成25年度			普通科等			職業学科			総合学科		
			4ヶ所	6ヶ所	8ヶ所	4ヶ所	6ヶ所	8ヶ所	4ヶ所	6ヶ所	8ヶ所	4ヶ所	6ヶ所	8ヶ所
三本木	6	240	40	40	40	40	40	40						
十和田西	2	70	35	35										
三沢	6	240	40	40	40	40	40	40						
野辺地	4	160	40	40	40	40								
七戸	4	160	40	40	40	40								
百石	4	160	40	40	40	40								
六戸	2	70	35	35										
六ヶ所	2	70	35	35										
三本木農業	6	210	35	35	35	35	35	35						
十和田工業	5	175	35	35	35	35	35							
三沢商業	5	200	40	40	40	40	40							
地区計	46	学級	学級	1,755人										



後期計画期間中の
中学校卒業予定者数の
増減 **△143人**
募集学級数の増減
△3学級



生徒数減少への対応策

○生徒数の減少に応じた
計画的な学級減

を検討

⑤下北地区

○中学校卒業生数の推移（見込）

	第2次実施計画期間		第3次実施計画[前期]期間		第3次実施計画[後期]期間			生徒急減期	
		H20(実績)		H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)	H28(見込)	H29(見込)	H33(見込)
中卒予定者数		896		781	798	766	705	712	604
(前年と比較)		—		—	17	△ 32	△ 61	7	—
(期間内の増減)		△ 105		△ 115	—			△ 69	△ 108
募集学校級数		20		18	—			17	
(期間内の増減)		△ 3		△ 2	—			△ 1	

※各年3月の中学校卒業予定者数及び各年度の募集学級数を示す。

41

○下北地区における学校規模・配置の方向性

学校名	平成25年度		普通科等			職業学科			総合学		
	学級数	定員	4クラス	6クラス	8クラス	4クラス	6クラス	8クラス	4クラス	6クラス	8クラス
田名部	5	200	40	40	40	40	40				
大湊	5	200	40	40	40	40	40				
大湊・川内校舎	1	40	40								
大間	2	70	35	35							
むつ工業	5	175	35	35	35	35	35				
地区計	18	学級	学級	685人							



後期計画期間中の
中学校卒業予定者数の
増減 **△ 69人**
募集学級数の増減
△ 1学級



生徒数減少への対応策

○生徒数の減少に応じた
計画的な学級減

を検討

42

⑥三八地区

○中学校卒業生数の推移（見込）

	第2次実施計画期間		第3次実施計画[前期]期間		第3次実施計画[後期]期間				生徒急減期
		H20(実績)		H25(見込)	H26(見込)	H27(見込)	H28(見込)	H29(見込)	H33(見込)
中卒予定者数		3,519		3,108	3,127	2,927	2,903	2,825	2,321
(前年と比較)		—		—	19	△ 200	△ 24	△ 78	—
(期間内の増減)		△ 255		△ 411	—			△ 283	△ 504
募集学校級数		58		48	—			44	
(期間内の増減)		△ 4		△ 10	—			△ 4	

※各年3月の中学校卒業予定者数及び各年度の募集学級数を示す。

43

○三八地区における学校規模・配置の方向性

学校名	学級数	定員	平成25年度			普通科等			職業学科			総合学科		
			4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年	4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年	4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年	4ヶ年	6ヶ年	8ヶ年
八戸	6	240	40	40	40	40	40	40						
八戸東	6	230	40	40	40	40	40	30						
八戸北	6	240	40	40	40	40	40	40						
八戸西	5	200	40	40	40	40	40							
八北・南郷校舎	1	40	40											
五戸	2	70	35	35										
三戸	2	70	35	35										
田子	2	70	35	35										
名久井農業	3	105	35	35	35									
八戸水産	4	140	35	35	35	35								
八戸工業	7	245	35	35	35	35	35	35	35	35				
八戸商業	4	160	40	40	40	40								
地区計	48	学級	学級	1,810人										



後期計画期間中の
中学校卒業予定者数の
増減 **△ 283人**

募集学級数の増減
△ 4学級



生徒数減少への対応策

○生徒数の減少に応じた
計画的な学級減

○町村部の普通高校1校
に校舎制導入

○校舎制導入校1校の募
集停止

を検討

44

3 今後のスケジュール

45

- ◎平成23年度 後期計画の検討に着手
- ・ 第1回地区説明会
 - ・ 第2回地区説明会
 - ・ **意見募集実施**
(郵便等、ファクス、電子メール)
- ◎平成24年度
- ・ 具体的な実施計画【後期】(案)公表
 - ・ パブリックコメント実施
 - ・ 第3回地区説明会
 - ・ 具体的な実施計画【後期】策定、公表
- ◎平成26年度
～29年度
- ・ 具体的な実施計画【後期】実施期間

46